

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 13:30 から くらしの植物苑東屋

4月29日(火) 歴博みどりの日 (入苑無料)

『新緑の城址公園を歩く』 中川重年 (本館研究部客員教授)

5月24日(土)『身近な山菜』 中川重年 (本館研究部客員教授)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

今見られる花：梅、ナバナ、ヤマモモ、シキミ、ヒサカキ、ユキヤナギ、サンシュユ、トサミズキ、ジンチョウゲ、シロバナジンチョウゲ、カンヒザクラ、ヤブツバキ、椿品種、バイモ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ハラン

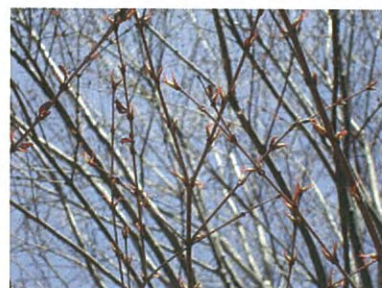
アマナ (ユリ科アマナ属)

日当たりのいい草地に生える多年草です。チーリップに近い属の野生種で、鱗茎は良質のデンプンを含み、煮るか焼いて食用にします。



カツラ (カツラ科カツラ属)

比較的原種的落葉樹で日本に準固有種。雌雄異株で葉の出る前に花が咲きます。花には花被がなく左の写真の雄花にはたくさんの雄しべがあります。右の雌花には雌しべが3~5個あります。葉は抹香に、樹皮は腐りにくいので屋根ふきに利用されます。京都の葵祭りにはこの枝葉が用いられます。



シュンラン (ラン科シュンラン属)

日本に普通にある地生ランで、地下に偽球茎があり、偽球茎上に葉が出ます。花の色はさまざまあります。花を塩漬けにしてお茶することがあります。ホクロ、ジジババなどと呼ばれることもあり親しみのある花です。



シデコブシ (モクレン科モクレン属)

本州中部に限られた地域に固有に分布します。多数の花弁で美しいので庭木によく植栽されています。色は固体差があります。

英: Star or Starry Magnolia、中: 四手辛夷といひます。



アブラチャン (クスノキ科シロモジ属)

落葉小高木で、雌雄異株です。左が雄花で、右が雌花です。果実は球形で中の種子は油分に富み、中部地方では灯用に用いられました。枝葉も油分を持ち、よく燃えるのでこの名があります。



アンズ (バラ科アンズ属)

落葉高木で、花は淡紅色で5弁または重弁です。果実は生食やジャム、果実酒などに利用されます。種子は杏仁といい漢方にも用いられます。また杏仁からとった油も軟膏などにもちいられます。

英: Common Apricot、中: 杏といひます。

